

きょうほれんニュース 2025.11

京都保育団体連絡会 発行

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都 5 階
TEL075-801-8810 Fax075-822-6220 kyohoren@gmail.com



たつかさ保育園の 保護者会主催のバザーの紹介

(11月16日開催)

【みんなの・異彩】を解き放て！】をテーマに、カラフルな異彩と笑顔が溢れる1日となりました。

保護者の方々の好きな事・得意な事・職業を活かした模擬店やワークショップ、イベントなどを募集して企画し、みんなで作り上げる事ができました。

親子で楽しめる充実した内容が盛り沢山で、子ども達は特別な体験が出来て喜んでいたようです♪ 1日では回り切れない程、魅力的でした！(内容は画像をご参考に)



子ども達向けに『ミニキッザニア』も開催し、お店番や宣伝などバザーのお手伝いをしてくれた子達に、園長先生と主任の先生のお顔が描かれているお札を発行し、子供コーナー等で使えるお給料としてプレゼントしました。子ども達も意欲的に沢山関わってくれて、とっても得意気で嬉しそうな表情でした♪



また、バザーの打ち上げでは、バーテンダーをされている保護者さんがカルピスバーのブースを開店してくれるなど、打ち上げまで異彩を放っていた素敵なお祭りでした。バザーの帰り際に、「たつかさに入園してほんとに良かった～、と保護者の方が話されていたのが印象的でした。

みんなで温かく繋がれて保護者会がある事の大切さを改めて感じ、先生達とも沢山交流ができ、楽しさを共有出来たすてきな一日でした。保育園に感謝です。

・ホール・

- ・朝から誰でもヨガ (対象: どなたでも)
- ・親子でリズム遊び (対象: どなたでも)
- ・足が速くなる教室 (対象: 年長さん・小学生)
- ・自宅へアカット講座 (対象: どなたでも)
- ・のど自慢大会 (対象: どなたでも)

・ブース・

- ・アクセサリー作り (1階 こやぎ組)
- ・楽器体験 (2階 白うさぎ組)
- ・数秘占い (1階 ホール横中庭)

・親子体験(予約制)・

- ・パン作り体験 (たつかさ保育園ホール)
- ・チーズ体験 (たつかさ児童館 2階個室)
- ・工作体験 (たつかさ児童館 ホール)
- ・草木染め体験 (たつかさ児童館 1階)



京都市保連事務局長・たつかさ保育園保護者
池田智子



第60回全国学童保育研究集会、初の九州開催！

2025年10月25(土)、26日(日)、11月9日(日)の3日間にわたり、第60回全国学童保育研究集会(全国研)が開催されました。60回の節目となる今回、九州では初となる福岡県での開催となりました。また、オンライン分科会は保育合研を参考に別日に設定するという取り組みもありました。現地には約1600名が集い、

オンライン参加と合わせて4300名を超える参加となりました。

25日は全体会。福岡市の福岡国際センターを会場として行いました。来賓として子ども家庭庁、福岡県、福岡市教育委員会からの挨拶をいただき、特別報告では保護者、指導員、岩手県大船渡市の大規模森林火災被災地からの報告、基調報告、「日本の学童ほいく」普及拡大アピールでは寸劇でのアピールがありました。記念講演は「子どもたちが自ら社会をつくるにはー共に生きる大人が大切にしたいこと」と題して松田洋介氏(大東文化大学)が講演されました。

26日は分科会。福岡市の福岡大学、福岡大学附属若葉高等学校を現地会場として36分科会を開催しました。各分科会では1日があつという間に終わってしまうくらいに熱い交流が行われたようです。制度の分科会の世話人を担当しましたが、現在でも各自治体での実施方法が様々であること、大規模化や指導員不足などは全国どこでも同じ状況だということが交流で出され、これからも声をあげていこうということを確認しあいました。

11月9日はオンラインで14分科会を開催しました。別日に設けたことでサテライト会場を設けて参加された方も多く、学びの場となりました。オンラインの分科会の設定数が少なかったことで1つの分科会の参加者が大変多くなかったことは今後の課題です。

京都からは31名が参加しました。現地での参加者もあり、全国研とはこういう感じ！ということを地域に伝えたいという思いを知らせてくれました。

やはり、現地での開催がよい！という声とオンラインだから遠方からでも参加することができる！という両方の声があるなか、今後の開催をどうしていくか節目にきていると思います。参加者みんなの思いや願いを交流する場としてどういう形がよいのか、次回にむけても模索しながら作っていきたいと思います。

次回は山形県での開催が決定しています。日程は2026年10月31日(土)、11月1日(日)です。ぜひ、ご予定ください。



京都学童保育連絡協議会・出射雅子



日本みて歩き その14 －北海道の文学者－ 藤井伸生

舞鶴からのフェリーが到着する小樽は、小林多喜二(写真①)の出身地です。

小樽市立小樽文学館(写真②)には、多喜二をはじめ小樽に縁のある文学者の展示がされています。有名な小樽運河の近くですので、是非、足を運んでみて欲しいですね。



② 今回の旅で、訪れたかったのが塩狩峠です(写真③)。旭川市の近くの和寒町にあります。

塩狩峠は、三浦綾子が史実に基づいて書かれた小説で有名になりました。峠で逆走する列車を長野政雄さんが身を挺してストップさせた実話を元にしたものです。



写真④は、塩狩峠記念館です。三浦綾子は旭川で暮らしていましたが、当時の家を塩狩峠に移設して記念館としています。なかには、彼女が執筆作業をした部屋が再現されています。塩狩峠への思いを語った肉声も聞くことができます。お薦めの地です。



①



④

③